

公益活動報告書（令和6年度分）

（宛先）岡崎市長

令和7年6月10日

団体名 非営利活動法人 BLUE WAVE JAZZ FORUM

代表者 理事長 福間和夫

構成員 23人（※令和7年4月1日時点の構成員数）

団体の目的

この法人 岡崎市を中心とした地域住民にたいして、文化資産である「内田修ジャズコレクション」の活用に関する事業を行い、ジャズという音楽文化の普及を通して地域住民の交流の場を提供するとともに、地域社会の公益の増進に寄与することすることを目的とする。

私達の団体が掲げる目的を実現した活動を、以下の項目に従って報告します。
なお、記載内容を一般に公開することに同意します。

■ 1 団体の活動目的達成に向けて、今年度はどんな活動をしましたか（公益活動に限る）。

活動日 又は期間	場所	参加人数		活動内容	効果	分類 ※
		会員以外	会員			
2024.9.28	千万町楽校 特設野外ステージ	73人	15人	「ジャズは友達 Part.2」千万町ジャズ祭り2024 好天に恵まれ実施できた。会場が山中にあるため昼間に実施し、多くのお客様にご来場いただいた。	久しぶりに千万町でのジャズ祭りで、生の演奏を楽しんでいただいた。このジャズ発信活動を通じてジャズの楽しさを堪能してもらう事ができた。	3
2024.6.02 2024.11.10	Vol.5 りぶら ホール Vol.6 りぶら ホール	延べ 165人	306人	ジャズの街岡崎発信連絡協議会事業が岡崎市の協力を得て内田修ジャズコレクションプライベートテープの音源を使用した、ジャズ講座をジャズドラマ - 森山威男氏を講師にお迎えし、2回開催した。	森山氏の当時の感想を伺いながら、岡崎市の所蔵するコレクションを構成する、ヤマハジャズクラブの記録音源は、唯一無二の資産であることを市民にご理解いただいた。	3
2025.1.11 2025.3.08	Vol.7 りぶら ホール Vol.8 葵丘会館	延べ 121人	30人	ジャズの街岡崎発信連絡協議会事業が岡崎市の協力を得て内田修ジャズコレクションプライベートテープの音源を使用した、ジャズ講座をジャズドラマ - 村上寛氏を講師にお迎えし、2回開催した。	村上氏の当時の感想を伺いながら、岡崎市の所蔵するコレクションを構成する、ヤマハジャズクラブの記録音源は、唯一無二の資産であることを市民にご理解いただいた。	3
2024.9.21 2024.6.02 2024.1.28	りぶら ホール りぶら ホール りぶら ホール	110人 116人 56人	20人 21人 20人	○「ジャズは友達Part.1」学生支援事業と題して・大学生バンドと地元ミュージシャンによるライブを開催 ○ジャズアンバサダー今岡友美さんと森山威男氏のライブ開催 ○「新春ジャズ祭り」学生支援事業としてジャズライブを開催し、演奏の場を提供いたしました。	昨年に引き続き、女性バイオリニストをリーダーにしたアンサンブルには新しさを、多くの来場者に体感してもらうことができた。	3
2024.7.13	りぶら ホール	125人	15人	ジャズコレクション活用事業サポート 「ジャケット展」を開催、ジャズコレクションの貴重なレコードジャケットを使用し、ジャケットデザインを全面に、当時の時代背景をも感じ取ることができる展示の構成を考えた。合わせてミニライブも実施した。	令和6年度、コレクション活用事業の一環で、レコードジャケットの芸術性に着目し、女性アーティストを中心に展示した。	3
2024.6.2~11.24	FM おかざき We Love Jazz 78回	30万世帯	135人	毎週金曜日 21:00~21:30 毎週日曜日 16:00~17:00 21:00~22:00(再放送)	昨年度に引き続き、ジャズ/街岡崎発信連絡協議会事業 ジャズ音楽をテーマに配信、その楽しさを紹介しながら岡崎市の発信事業を広く紹介できた。	3
2024.4.5~5.247 12.6~2025.3.28	FM おかざき We Love Jazz	30万世帯	20人	毎週金曜日午後9時から30分の生放送を運営、ジャズ音楽の魅力と楽しさをリスナーに提供、岡崎市民に広くジャズ音楽を紹介した。	FM おかざきスタッフのバックアップにより、ジャズの楽しさを実感していただき、市民のジャズファンの拡大に努めた。	3

※分類 ①人を助ける活動 ②活動の担い手を育てる活動 ③人々を啓発し、団体の目的を広める活動

※活動についてチラシ、報告・記録などがありましたらあわせてご提出をお願いします。

■ 2 前項 1 に基づき、活動の公益性を自己評価し、付随する質問にお答えください。

① 公益性の度合いを自己評価してください(数字に○をつけてください)

高い ○ 5 4 3 2 1 低い

② 上記の評価をした理由をお書きください

昨年度に続いて、ジャズの街岡崎発信連絡協議会事業に参加し、地域のジャズボランティアグループとの共同作業を通して交流を図りました。又その活動体制は、昨年に引き続き、全ての事業を協議会の全体事業として捉え、より一体感のある運営体制に注力しながら多岐に渡る事業を実施し、それらの事業収益(入場料)をもとに追加事業も計画し実施いたしました。

感染症拡大対策も軽減されるなど、事業運営環境が好転した年でした。又、荒天による事業の中止も一部で検討しながらの運営でしたが、一部を除いて天候に恵まれ、事業において、心配を他所に予想を上回る多くの方々にお越しいただくことが出来ました。多くの方々が我々の“ジャズ音楽振興活動”への期待を実感する機会となりました。

我々は、内田修ジャズコレクションの活用事業に力点を置き、今年も地元のプロミュージシャンと学生支援をテーマにジャズライブを、昨年度に引き続き開催しました。参加する大学も増えて6大学のなり、学生ミュージシャンの演奏の場としての機能が拡大し、学生間の交流の場にもなりました。又、彼らが楽しみにしているOBであるプロミュージシャンとのセッションも開催し、参加者にとってはとても貴重で、刺激的な経験になったと思われます。このようなライブの企画運営は地道であるが実のある活動であると考え、若い人達を通してジャズ音楽を振興して行くための大切な事業と捉え、今後も継続して行きます。

又、コレクション活用事業としてジャケット展&ミニライブを開催し、レコードコレクションの層の厚さを感じるとともに、ジャズ音楽の時代を感じさせるジャケットの展示には高い芸術性を感じました。市所蔵のジャズコレクションを身近に鑑賞する機会を創ることにより、市民の皆様楽しく紹介し、理解を深めてもらうことができました。

更に、岡崎市のジャズコレクションとの取り組みの一環として、ジャズ音楽番組を制作し、FM放送により発信してきました。「ジャズの街岡崎」をより広く強く発信できたと自負しています。